

令和3年度
地域福祉・ボランティア・在宅福祉
事業報告集



地域福祉推進のマスコット
のみんちゃん

社会福祉法人能美市社会福祉協議会

令和3年度 地域福祉・ボランティア・在宅福祉 事業報告集 目次

項 目	ページ
I 市民の参加と協力を得た組織運営	
①理事会・評議員会の開催	3
②会員会費募集	3
③第3次能美市地域福祉活動計画の推進（最終の4年目）	3
④広報誌の発行・ホームページ運営・SNS等による情報発信	3
II 福祉意識の醸成の働きかけ	
⑤社会福祉大会等の開催や福祉意識啓発の活動 ・社会福祉大会 ・春まちぽかぽかプロジェクト	4～7
⑥交流を中心としたふれあい福祉事業 ・聴覚に障がいのある方のつどい「福耳ネット」 ・視覚に障がいのある方のつどい「ぬくもりサロン」 ・ここに寄り添い合う人づくり講座	8
⑦福祉団体や福祉活動グループの活動支援 ・老人クラブ連合会の支援 ・身体障害者福祉協議会の支援 ・母子寡婦福祉連合会の支援 ・民生委員児童委員協議会の支援 ・まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の支援 ・のみ社会福祉法人連絡会の支援	8～9
⑧愛の福祉基金	9
III 地域の支え合い体制づくりの推進	
⑨見守りネットワークの構築	9
⑨-1 地域福祉委員会の活動支援	9～11
⑨-2 福祉推進員及び福祉推進員連絡会の活動支援	11
⑨-3 いきいきサロン等の活動支援	12
⑨-4 一人暮らし高齢者昼食会・おでかけサロンの活動支援	12
⑨-5 ふれあい弁当の実施	12
⑨-6 子育て応援弁当の実施	13
⑨-7 音訳テープの提供	13
⑨-8 傾聴ボランティアの派遣と活動支援	13
⑨-9 能美市民防災ネットワークの活動支援	14
⑨-10 歳末時のお見舞金の贈呈	14
⑩生活支援体制の基盤整備と生活支援の取り組み	14
⑩-1 生活支援コーディネーターの配置	14
⑩-2 つなぐ号貸出事業の実施（買い物・外出支援活動の支援）	15
⑩-3 フードドライブの実施	15

項 目	ページ
⑪同じ立場の方々の支え合いや交流活動の支援 ・ほっとあんしんサロン ・親子サロンとママ友相談	15
⑫ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営	16
⑫-1 登録・ニーズ受付・相談・斡旋・保険加入《登録グループ一覧》	16～20
⑫-2 ボランティア講座の開催 ・ジュニアボランティアクラブ ・中学生ボランティアチャレンジ体験 ・高校生ボランティアチャレンジ体験 ・企業ボランティアセミナー	21～22
⑫-3 災害ボランティアセンターの運営研修会及び 事業継続計画（BCP）研修会の開催	22
⑫-4 パネル展示 「笑顔でつながろう」の開催	22
⑫-5 ボランティアグループ活動支援（助成金）	23
⑫-6 福祉協力校の活動支援	24
⑫-7 能美市ボランティア連絡協議会の活動支援	24
⑫-8 ボランティア情報発信	24
⑫-9 ボランティア器材の貸出し＜用品一覧＞	25
⑫-10 ボランティア・コミュニティ活動支援センターが 窓口となっている収集物について	26
⑬老人福祉センター等の指定管理、運営	27
Ⅳ 寺井あんしん相談センターの運営	
⑭高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口	27～28
Ⅴ くらしサポートセンターのみ の運営	
⑮生活困窮者自立相談支援事業（食糧支援含む）	28
⑯成年後見制度利用促進事業	29
⑰福祉サービス利用援助事業	29
⑱安全・安心のための各種相談	30
⑱-1 心配ごと相談	30
⑱-2 弁護士無料法律相談	30
⑱-3 行政書士無料相談	30
⑱-4 能美市福祉資金	31
⑱-5 石川県生活福祉資金	31
Ⅵ 在宅福祉サービスの提供	
⑲福祉移送サービス（外出支援サービス）	32
⑳たすけあい・ライフサポーター（訪問型サービスB）派遣事業	32
㉑能美居宅介護支援事業所の運営	32
Ⅶ 能美市社会福祉協議会 お問い合わせ先一覧	33

I 市民の参加と協力を得た組織運営

① 理事会・評議員会の開催

理事会、評議員会や役員等研修（オンライン）を開催し、市民が参加協力して地域福祉を推進する団体である社会福祉協議会を運営し、協議し合う機会をつくった。

理事会	（第69回～72回）	4回開催
評議員会	（第65回～67回）	3回開催
監査会		1回開催

② 会員会費募集

新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、特に推進月間を設けず、9月～12月に募集した。地域福祉充実のための財源として活用した。

正会員実績	個人会員数	809名	金額	809,000円
	組織・団体・法人	79団体		395,000円
賛助会員実績	個人会員数	3,425名		1,733,750円
	企業・団体	190団体		674,000円
	総額			3,611,750円

③ 第3次能美市地域福祉活動計画の推進（最終の4年目）

行政計画の第4次能美市地域福祉計画の策定と同時期に、第4次能美市地域福祉活動計画を策定する為、第3次能美市地域福祉活動計画は期間を5年間から4年間に変更し、令和3年度を最終年度として取り組み、第4次策定につなげた。

第3次計画を推進する3委員会⇒第4次計画策定ワーキング

- 推進する3つの委員会※・・・30回開催（各10回）
 - ・ ところに寄り添い合う人づくり委員会
 - ・ 見守り・助け合い推進委員会
 - ・ 暮らし応援委員会（新規）

第3次計画ところ豊かな地域づくりの会、評価委員会⇒第4次計画策定幹事会等

- ところ豊かな地域づくりの会※（策定幹事会）・・・4回開催
- 評価委員会・・・2回開催
（初回はところ豊かな地域づくりの会と合同開催・2回目は策定幹事会と合同開催）
- 第4次計画調整会議・・・4回開催（コアメンバー、市担当課との打合せ）

第4次計画に関する策定委員会・策定検討会

- 策定委員会・策定検討会の合同会議・・・4回開催

※市民への報告の機会・・・「春まちぽかぽかプロジェクト」（5頁掲載）

2月19日（土）～27日（日）の間、第3次活動計画に関する報告の機会として、5プログラムを実施した。感染予防対策のため、会場定員を設けオンラインを活用し開催。5プログラムの会場参加は272人、オンライン参加は41人 計313人

④ 広報誌の発行・ホームページ運営・SNS 等による情報発信

社協広報誌「ほほえみ」の発行（年4回）やホームページ・Facebook・Instagramを運営し、地域福祉活動やボランティア活動の啓発と情報を発信した。

- ・ 第64号（6月1日発行）・・・令和3年度事業計画・会計収支予算他
- ・ 第65号（9月1日発行）・・・令和2年度事業報告・収支決算、理事・監事・評議員紹介他
- ・ 第66号（12月1日発行）・・・能美市社会福祉大会、石川県社会福祉大会他
- ・ 第67号（3月1日発行）・・・歳末お見舞金贈呈他

Ⅱ 福祉意識の醸成の働きかけ

⑤ 社会福祉大会等の開催や福祉意識啓発の活動

各種大会やつどいを開催し、市民の福祉意識を啓発し、地域での支え合いや助け合いの活動への参加を促した。

大会の名称	期日・会場	参加者数	受賞者一覧
第17回 能美市社会福祉大会	10月15日 (金) 辰口 福祉会館	65名 ※ コロナ禍の為 被表彰者 社協役員・ 評議員のみ	社会福祉功労者等表彰(22名3団体)(敬称略) <u>民生委員児童委員</u> 4名 生田 絹代(寺井地区) 森 義久(寺井地区) 中西 辰雄(辰口地区) 富田 静香(寺井地区) <u>社会福祉活動者・団体</u> 1名1団体 佐々木 るり子(東任田町福祉推進員) のみ♡子育てネットワーク (代表:清水 奈津美 会員数:25名) <u>社会福祉団体役職員</u> 7名 北山 幸正 (能美市身体障害者福祉協議会) 善田 孝司 (能美市身体障害者福祉協議会) 谷口 武夫 (能美市老人クラブ連合会) 南 忠治 (能美市老人クラブ連合会) 相河 敏子 (能美市遺族会) 千田 法子 (能美市遺族会) 杉田 洋子 (能美市遺族会) <u>社会福祉施設役職員</u> 10名 宮本 紗起子(喜峰会) 木田 美紀(喜峰会) 中村 美穂(喜峰会) 北田 純子(喜峰会) 小酒 千亜紀(泰 耀) 石井 敏恵(あんすりー) 多賀 千加子(あんすりー) 小中 真里(市保育園) 國澤 さやか(市保育園) 石川 友貴(市社協) <u>奨励賞</u> 2団体 秋常町 いきいきサロン いきいきサロン佐野町倶楽部
 受賞された皆様			
 受賞者代表で謝辞を述べる森氏			

『春まちぽかぽかプロジェクト』

＜今こそ 笑顔☺で助け合う地域のふくし＞

～ふくしじゅうでもくふうでしあわせ～>開催

地域のいろいろな支え合い活動を知り、学び合う機会として開催し、誰もが個々の力を活かし、支え合いの地域づくりに関わる大切さを啓発した。

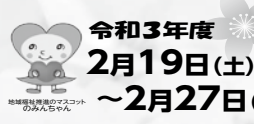
★プログラム1, 2, 6, 7, 17 第3次能美市地域福祉活動を推進する3委員会の取り組みを理解する機会

★プログラム3～5, 8～16 市民の支え合いや助け合いの活動を知る機会

★協賛事業 皆さんの温かい気持ちが形となり地域に活かされる機会

【開催期間】2月19日(土)～27日(日) 9日間

【参加者数】延べ871名



春まちぽかぽかプロジェクト

今こそ 笑顔☺で助け合う地域のふくし
～ふくしじゅうでもくふうでしあわせ～

令和3年度
2月19日(土)
～2月27日(日)

新型コロナウイルスの感染予防対策や外出自粛が長期化したことで、集う機会が少なくなり、人とのつながりの希薄化を危惧する地域の声や、不安だと心配する高齢者の方の声も聞かれました。そのような環境下でも、不自由な日々の生活を工夫し、つながりづくりに向けた新たな市民の取り組みが見えてきました。今年度は「つながるこの大切さ」を再確認し、コロナ禍での閉塞感を打破するため、今こそ「笑顔」で助け合う市民の力強い取り組みを知り、みんなで考える機会をします。どんなでもくふうでしあわせ。ぜひ、ご参加ください。

能美市では「能美市総合計画」に基づき、「地域福祉計画」「障害者計画」「いきいきプラチナプラン」「子ども・子育て支援事業計画」等の福祉計画が策定されています。これらを踏まえて、能美市社会福祉協議会が策定した「能美市地域福祉活動計画」では、住み慣れた地域で、誰もが互いに支え合い合って暮らせる福祉の地域づくりのための取り組みを市民参加で進めています。

主催：第3次能美市地域福祉活動計画
推進委員会
(ここに要約したい人づくり委員会、
くらし応援委員会、
社会福祉法人 能美市社会福祉協議会
後援：能美市
(申込み・問い合わせ先)
社会福祉法人 能美市社会福祉協議会
電話 (076) 58-6200 FAX (076) 58-6250
ホームページ <http://www.nomi-shakyo.jp>

1 第3次能美市地域福祉活動計画
この春から地域づくりの会
能美市社会福祉協議会

オープニング
●日時：2月19日(土) 10時～10時30分
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町8-1)
10:00 開会・主旨説明
10:10 令和3年度 春まちぽかぽかプロジェクト
全17プログラムの紹介
10:30 閉会
※引き継ぎ10:30～プログラム2(くらし応援委員会)へ続きます。

2 くらし応援委員会
●日時：2月19日(土) 10時30分～12時
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
10:30 開会・主旨説明
10:35 フードドライブでつながった
「助け合い」の取り組みの紹介
11:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
11:25 グループワーク「私たちができること」
12:00 閉会
会場定員：30名 オンライン定員：50名

3 障がいをもつ人への支援
●日時：2月23日(水・祝) 10時～11時30分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
10:30 開会・主旨説明
10:35 フードドライブでつながった
「助け合い」の取り組みの紹介
11:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
11:25 グループワーク「私たちができること」
12:00 閉会
会場定員：30名 オンライン定員：50名

4 心強い環境をつくる
●日時：2月26日(土) 10時～12時
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
10:30 開会・主旨説明
10:35 フードドライブでつながった
「助け合い」の取り組みの紹介
11:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
11:25 グループワーク「私たちができること」
12:00 閉会
会場定員：30名 オンライン定員：50名

5 共生社会を推進する
●日時：2月26日(土) 10時～12時
●会場：ふれあいプラザ 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
10:30 開会・主旨説明
10:35 フードドライブでつながった
「助け合い」の取り組みの紹介
11:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
11:25 グループワーク「私たちができること」
12:00 閉会
会場定員：30名 オンライン定員：50名

6 地域福祉委員会って なに？
●日時：2月23日(水・祝) 13時30分～15時
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

7 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

8 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

9 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

10 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

11 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

12 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

13 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

14 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

15 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

16 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

17 地域福祉のつどい
第3次能美市地域福祉活動計画のまとめ
●日時：2月27日(日) 13時30分～15時45分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
●アドバイザー：特定非営利活動法人ウップ 代表理事 吉村 久美子 氏
13:30 開会・主旨説明
13:40 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:00 地域福祉活動の紹介(市役所・福祉センター・公民館・交流センターなどの取り組みの紹介)
14:15 グループワーク「私たちができること」
15:00 閉会
会場定員：100名 オンライン定員：50名

協賛事業

前期
●日時：2月19日(土)～25日(金) 10時～16時
●会場：能美ふるさとミュージアム(寺井町8-1)
(入場無料、21日は休館日)
※主催：能美市ボランティア連絡協議会
※協賛：能美市ボランティアグループの活動紹介
「能美たすかったわ～大賞」受賞作文・福祉協力 ボランティア活動紹介

後期
●日時：2月26日(土)～27日(日) 10時～15時30分
●会場：能美市社会福祉協議会 第1会議室(寺井町8-1)
※主催：能美市社会福祉協議会
※協賛：能美市社会福祉協議会
「能美たすかったわ～大賞」受賞作文・福祉協力 ボランティア活動紹介

『能美たすかったわ～大賞』大募集!

～あなたのおかげで～

ぽかぽかミニコンサート

お風呂でばかばか歌い、オカリナの演奏で心もほかほかしませんか？ぜひ、ご参加下さい。
ふれあい歌うたの会(水曜日)によるバンの演奏もあります。お楽しみに!

寺井老人福祉センター ●開催日：2月22日(水)
(能美市社会福祉協議会)

老人福祉センター ●開催日：2月25日(金)
白寿会館

～日程～ パン販売：11時～(なくなり次第終了) ●会場(白寿会館)及び(能美市社会福祉協議会)の65歳以上の高齢者に限ってご参加いただけます。

【「能美たすかったわ〜大賞」「きらり★福祉の魅力」フォトコンテスト」の表彰式、笑いヨガDVD贈呈式】

2月27日(日) 13時30分〜 辰口福祉会館

＊「能美たすかったわ〜大賞」応募総数 1,082 作品
(一般 390 作品 小学生の部 692 作品)

大 賞 森田 悟 (上清水町) (敬称略)

作品 『元気か、何もなにか』 2日に1回位かかってくる電話。この声を聞くとホッとする。高齢の一人暮らしコロナ禍の辛い中で温かい言葉。何時(いつ)か連絡を待つようになりました。この友のお陰で元気で過ごしております。感謝』

一般の部 優秀賞 水口 真希 (吉光町)
// 池田 育未 (辰口中学校 2年)
// 中川 葵 (寺井中学校 2年)
// 西 雅代 (三道山町)

小学生の部 優秀賞 宮山 裕里那 (福岡小学校 4年)
// 河原 海里 (湯野小学校 6年)
// 山本 蓮翔 (和気小学校 6年)
// 沢田 晏菜 (浜小学校 6年)
// 井出 賢佑 (粟生小学校 2年)



市社協伴場会長から受賞者の方へ、表彰状と副賞を贈呈しました。

＊「きらり★福祉の魅力」フォトコンテスト」応募総数 71 作品

◆最優秀賞

認定こども園 能美市立寺井保育園
橋場 礼子
作品名「先生のおひざだぁ〜いすき♪②」



◆優秀賞

特定非営利活動法人 WiWi キッズクラブ
木村 美津枝
作品名「WiWi キッズクラブ 全員集合!!」



◆優秀賞

社会福祉法人 喜峰会
宮塚 沙織
作品名「ポニョ〜ル畑でハイチーズ」



◆審査委員特別賞

社会福祉法人なごみの郷
前出 真
作品名「うらら、きれいにすっさけえ〜」



地域福祉のつどい

※春まちぽかぽか
プロジェクト
最終日

会場とオンラインの
ハイブリッド形式

※第3次能美市地域
福祉活動計画の最終
年度の報告会として
開催

2月27日
(日)

辰口福祉
会館

会場
94名

オンライン
4名



◆石川県立寺井高等学校(JRC 部)による 「笑いヨガ」披露・「笑いヨガ DVD」贈呈



寺井高等学校 JRC 部より寄贈された
「笑いヨガ DVD」は、いきいきサロン
等に貸出し予定。



◆第3次能美市地域福祉活動計画の 3委員会委員長、評価委員会委員長が報告

【座長(アドバイザー)】

同志社大学社会学部教授 永田 祐 氏】

- ・ここに寄り添い合う人づくり委員会
津田 康則 委員長
- ・見守り・助け合い推進委員会
藤田 珠美 委員長
- ・くらし応援委員会
栗山よしみ 委員長
- ・評価委員会（評価の視点）
高塚 亮三 委員長

コロナ禍により「ふだんのくらし」が大きく
変化した、その中でも知恵を出し合い
工夫した、つながりづくりや助け合う活動
の取り組みの報告が各委員会よりあった。
第3次活動計画のまとめとして、「つながる
ことの大切さ」を再確認した。

◆講演

演題「地域共生社会の実現に向けて」

講師 同志社大学社会学部教授 永田 祐 氏

⑥ 交流を中心としたふれあい福祉事業

交流を中心としたふれあい福祉事業や福祉専門職の資質向上のための交流研修を実施し、地域における「福祉意識」を盛り上げると共に、専門職の力を地域で活かすように働きかけた。

1	聴覚に障がいのある方のつどい 「福耳ネット」 ※耳が聞こえにくい方のつどいの 場と、仲間づくりの活動を支援	年間 10 回 第 4 水曜日 寺井地区 公民館 12 名（会員） 延べ 41 名 ※ 2 回中止 （新型コロナウイルス感染防止のため）	障害者サービスについての情報交換 「手話サークルめだか」が協力  能美市消防本部 より、「119 番 通報のかけ方と 防災」について 指導を受けた。
2	視覚に障がいのある方のつどい 「ぬくもりサロン」 ※視覚に障がいのある方のつどい の場と、仲間づくりの活動を 支援	① 10 月 11 日（月） ふれあいプラザ 5 名 ② 11 月 17 日（水） 能美市防災センター 6 名 ③ 12 月 21 日（火） ふれあいプラザ 6 名 ④ 1 月 12 日（水） ふれあいプラザ 7 名	交流や障害者サービスにかかる 情報交換 「ボランティアほおずき」が協力  げんきかいのみ なさんと交流し ながら、楽しい 時間を過ごし た。
3	こころに寄り添い合う 人づくり講座 ※「こころに寄り添い合う人づく り委員会」が主催 ※（5 頁掲載）「春まちほかほかプロジェクト」 において開催。	2 月 23 日（水・祝） ふれあいプラザ 46 名	精神に障がいのある方や、発達障が い児を育てる母親の思いを聞き、 こころに寄り添い合う意識づくり の機会として開催 ※ハイブリッド 型で開催 

※ふれあい福祉交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した。

⑦ 福祉団体や福祉活動グループの活動支援

福祉団体、福祉活動グループの組織活動を支援し、市民や団体の会員相互のふれあい交流事業や福祉のまちづくり活動への働きかけ、福祉意識の醸成を図った。

- ・老人クラブ連合会の支援（市連合会と 3 支部の事務局担当）
- ・身体障害者福祉協議会の支援（市協議会と 3 支部の事務局担当）
- ・母子寡婦福祉連合会の支援（事務局担当）
- ・民生委員児童委員協議会の支援（市協議会と 3 地区の事務局担当）
- ・まだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の支援（事務局担当）

市民提案型協働事業として、根上・寺井・辰口地区ごとに毎週 1 回少し虚弱な高齢者のミニデイサービスを実施している地域のボランティアグループまだまだ元気な高齢者サポートグループ「ほがらか会」の活動を支援しています。

「ほがらか会」実績

会場（開催曜日）	開催数	利用者数（延べ）	ボランティア数（延べ）	場所
根上会場（毎週木）	44 回	225 名	182 名	老人福祉センター「白寿会館」
寺井会場（毎週金）	43 回	164 名	88 名	寺井老人福祉センター「亀齢荘」
辰口会場（毎週火）	45 回	162 名	97 名	辰口福祉会館
合計	132 回	551 名	367 名	

- ・のみ社会福祉法人連絡会の支援（事務局担当）

「のみ社会福祉法人連絡会」は、令和3年度に社会福祉法人めばえ保育園（福島こども園）が新会員として加わり、市内9社会福祉法人で組織。地域課題の改善や解決をめざす地域福祉の担い手として、各法人や行政、他機関と連携・協働して各事業に取り組んだ。

- ① 会議 定期総会1回 ・ 幹事会：隔月開催(6回/年)
職員研修にかかる専門委員会：随時開催(8回/年)
ふれあい弁当にかかる専門委員会：随時開催(2回/年)
- ② 事業
 - ・福祉教育の協力：ジュニアボランティアクラブの講師や体験の指導
 - ・福祉の魅力発信：きらり★福祉の魅力フォトコンテストの参加
春まちぼかぼかプロジェクト協賛にて「法人連絡会の取り組み」のパネル展示
Instagramの開設（令和4年1月～）
 - ・職員研修：「オリジナル避難所を作ろう！」を企画し、各参加者の専門性から避難所で配慮の必要な人の特性の理解や、地域の防災対策の意識向上を図る予定。
（3月コロナ禍で延期し、5月予定）
 - ・ふれあい弁当：令和3年度から5法人が地域の高齢者等の弁当の調理を担った。

⑧ 愛の福祉基金

市民の善意による寄付を愛の福祉基金として積み立てた。

6件 総額683,200円

Ⅲ 地域の支え合い体制づくりの推進

⑨ 見守りネットワークの構築

⑨-1 地域福祉委員会の活動支援

市内では各町会・町内会単位で地域・地区福祉委員会が設置され、一人暮らし高齢者や障がいのある人など、支援を必要とする人が安心して暮らせるように、地域住民で見守り、支援する活動を行っている。社会福祉協議会では、地域福祉委員会活動ヒント探し講座を開催し、地域・地区福祉委員会の活動を支援している。

- ①地域・地区福祉委員会への活動支援 設置数……91ヶ所
 根上地区設置数・・・21ヶ所
 寺井地区設置数・・・23ヶ所
 辰口地区設置数・・・47ヶ所
 （平成28年度に市内全町(内)会に設置されました。）
地域・地区福祉委員会開催回数 493回
- ②各町会・町内会にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、連絡・調整等の支援をすすめた。
各地域・地区福祉委員会へ職員が出向いた回数 109回
- ③市内で気になる方のいる世帯へ、地区の民生委員・児童委員や、あんしん相談センター及びくらしサポートセンターの職員等と共に同行訪問し、見守りが必要とされた世帯には継続的に訪問し相談相手となるべく関係づくりに努めた。また、日常生活の困りごとのニーズ把握や解決に向け関係機関や地域と連携を図り、地域との関係づくりを進めた。

CSWの世帯への訪問、連絡回数 19回

地域福祉委員会活動ヒント探し講座の開催

講座名	受講者実績	実施期日・回数	会 場
入門編	17町(内)会より受講者の推薦があり、23名が受講。修了者を地域福祉委員会活動推進員に登録した。 (累計405名、登録者数381名)	9月15日～ 11月26日 (全4回)	寺井地区公民館 各町(内)会で実習
	【講座内容】 ① 開講式と講義『With コロナ&天災だからこそ～新たな『互近助』づくりへ～』 (※オンラインで実施) 講師 内 慶瑞氏 (金城大学社会福祉学部 教授) ※①、②は公開講座 ②【高齢者支援について】 社会福祉法人 能美市社会福祉協議会 寺井あんしん相談センター 管理者 前田 由美子氏 【障がい者支援について】 社会福祉法人 佛子園 生活支援ネット Be 星が岡ステーション 児童発達支援管理者 藤澤 沙希 氏 【子育て支援について】 能美市子育て支援センター センター長 河崎 裕季子 氏 【外国人支援について】 能美市国際交流協会 会長 喜多 泉 氏 ③ 実習『我が町で地域福祉委員会を開いて、町の様子を話し合ってみよう』 ④ 講義・グループワークと閉講式『無縁社会をご縁社会に』 講師 内 慶瑞氏 (金城大学社会福祉学部 教授)		
実践編	地域福祉委員会活動推進員のいる4地域・地区福祉委員会が受講・参加者は14名(湯屋町、緑が丘1、緑が丘5、緑が丘9)	9月16日～ 12月7日 (全3回)	各町(内)会の公民館 ふれあいプラザ
	【講座内容】 ① 講義『地域福祉委員会活動における住民流支えあいマップづくりの目的と手法を学ぶ』 ② 実習『わが町で住民流支えあいマップづくりを実践する!』 ③ 講義『それぞれの町で作成した住民流支えあいマップづくりを自分たちで検証する!』 講師 住民流福祉総合研究所 所長 木原 孝久 氏		
活動推進会議 (全2回)	実践編を終了した72地域・地区福祉委員会を指定。 (根上地区) 大成町・西任田町・浜町・山口町・中庄町・西二口町・五間堂町・道林町・吉原町・大浜町・中町・赤井町・高坂・根上町・福島町・福岡町・下ノ江町・中ノ江町・浜開発町 (寺井地区) 九谷町・泉台町・寺井町横町・新保町・東任田町・栗生町・牛島町・吉光町・末信町・大長野町・佐野町・寺井中町・緑町・小長野町・湯谷町・秋常町・寺井町山道・寺井町北町・小杉町 (辰口地区) 緑が丘・松が岡・宮竹町・和気町・三ツ屋町・鍋谷町・火釜町・岩本町・下開発町・来丸町・三ツ口町・倉重町・下徳山町・荒屋町・和光台・寺畠町・金剛寺町・仏大寺町・和佐谷町・灯台笹町・長滝町・大口町・岩内町・山田町・館・筋生町・徳久町・上清水町・北市町・坪野町・高座町・緑が丘2・緑が丘4・緑が丘7・緑が丘8		

※11Pへ続く。

活動推進 会議 (全2回)	★活動推進会議指定地域・地区福祉委員会、民生委員児童委員協議会、福祉推進員の他、地域福祉に関わる地域住民に参加を呼掛けた。
	① 地域福祉委員会活動連絡会の開催 町会・町内会長を委員長とする地域（区）福祉委員会関係者に対し、地域福祉活動の必要性について理解促進を図り、地域での見守り・助け合い活動をすすめることを目的とし、地域福祉委員会活動ヒント探し講座〔入門編〕公開講座①②に併せて、会場とオンラインのハイブリッド形式で「地域福祉委員会活動連絡会」を開催した。 実施日時：①9月15日(水) ②9月30日(木)午後7時～8時30分 実施会場：能美市ふれあいプラザ2階 内 容：人とふれあうことが難しい状況下で、何ができるのかを考える機会とし、地域福祉委員会における見守りや助け合い活動の意義について理解を深める。 参 加 者：①会場33名、オンライン11名 ②会場32名、オンライン9名 ②地域福祉セミナーの開催 「見守り・助け合い推進委員会」が主催 実施日時：2月23日（水・祝）午後1時30分～3時 実施会場：辰口福祉会館 内 容：地域福祉委員会における助け合い活動の拡充と周知、啓発のため、見守り・助け合い推進委員会委員による寸劇と活動を紹介した。その中からそれぞれの地域にあった活動のヒントを探る。 参 加 者：会場40名、オンライン7名 ※（5頁掲載）「春まちぽかぽかプロジェクト」において合同開催。

⑨-2 福祉推進員及び福祉推進員連絡会の活動支援

福祉推進員連絡会において研修の機会を企画し、その活動を支援した。

【福祉推進員：根上地区33名 寺井地区44名 辰口地区51名 計128名】

・福祉推進員連絡会 1回 ※いきいきサロンボランティア研修会と合同開催。

「ふくし × ICT 活用入門講座」

Withコロナの今『新たな生活様式』においては、ICTを利用する機会が増え、これから益々、情報発信や情報収集のしくみの一つとして活用される中、入門講座としてまずはICTに触れることで、今後のICTを活用した研修会等への参加や情報収集の機会につなげることを目的に開催した。

日 時： 3月29日（火） 午前の部 10時～11時30分

会 場： ふれあいプラザ

参加者： 17名

⑨-3 いきいきサロン等の活動支援

町会・町内会単位で行われている高齢者等の閉じこもり予防や見守りの集い、いきいきサロン等の活動費の助成や研修会の開催、講師を紹介するなど、必要な支援を行った。

根上地区	設置数 20 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 105回 1,677名 548名
寺井地区	設置数 22 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 246回 2,699名 718名
辰口地区	設置数 37 延べ参加者数 延べボランティア数	開催回数 132回 2,266名 544名
いきいきサロン等活動費の助成総額		2,538,500円 (財源は、市社会福祉協議会会員会費)

※(11頁掲載)福祉推進員連絡会と合同開催。

⑨-4 一人暮らし高齢者昼食会・おでかけサロンの活動支援

一人暮らし高齢者の社会参加の外出の機会として、地域(地区)福祉委員会等が実施する「一人暮らし高齢者昼食会」及び「おでかけサロン」に対し、その費用の一部を助成した。

事業名	助成額	実施町会・町内会 (開催回数)	参加者数
一人暮らし高齢者昼食会	対象者1名あたり 700円を助成	23町会・町内会	203名
おでかけサロン	1町会・町内会 7,500円を助成	5町会・町内会 (5回)	延べ84名

⑨-5 ふれあい弁当の実施

一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、障害者世帯等に対し、のみ社会福祉法人連絡会の会員法人が調理協力する夕食用の「ふれあい弁当」を民生委員・児童委員や福祉推進員が配達することにより、安否の確認と孤独感の解消及び地域で気にかかる方を見守るための訪問の機会につなげた。(1名につき、月2回まで利用可)

【対象者】満75歳以上一人暮らし高齢者等

【利用料】1食200円

【実施回数】22回×3地区=66回

※令和3年度より、第1・3水曜日で3地区統一

根上地区	利用実人数 延べ協力ボランティア数 調理協力 (第1)(社福) 泰耀	12名 126名 (第3)(社福) なごみの郷	延べ提供食数 199食
寺井地区	利用実人数 延べ協力ボランティア数 調理協力 (第1・3)(社福) 南陽園	25名 217名	延べ提供食数 394食
辰口地区	利用実人数 延べ協力ボランティア数 調理協力 (偶数月)(社福) 陽翠水	17名 228名 (奇数月)(社福) 佛子園	延べ提供食数 305食
・中学生のボランティア活動として弁当を配達する「ふれあい訪問」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止。			

⑨-6 子育て応援弁当の実施

産前・産後2ヶ月までの方がいる核家族世帯に対し、主任児童委員が「子育て応援弁当」を配達し、子育てを地域で応援した。（原則1世帯3食まで）

【対象者】産前と産後2ヶ月までのママとその家族（原則 核家族で祖父母等の支援を受けられない方）

【実施回数】第1・3水曜日、第2・4火曜日、第2・4金曜日 毎月6回（年間66回）

【利用料】1食250円 3食目350円

・利用実績	延べ提供食数	845食
	利用実人数	29名
	延べ協力ボランティア数	166名

⑨-7 音訳テープの提供

音訳ボランティア（音訳ボランティアたんぽぽ）が作成した、広報誌等の音訳テープを、視覚に障がいのある人に届け、正確な情報の提供に取り組んだ。

利用者 1名 各図書館に音訳テープを設置

・市広報誌「広報のみ」 ・市議会だより「のみだより」 ・社協広報誌「ほほえみ」

⑨-8 傾聴ボランティアの派遣と活動支援

一人暮らし等の高齢者の地域での孤立を防ぐため、傾聴ボランティアが高齢者の自宅へ訪問し、話を聞くことで安心感を持ってもらう。

・傾聴ボランティアを高齢者宅へ派遣

【対象者】6名（一人暮らし又は日中独居の高齢者）

【訪問回数】年間40回（月1回を基本）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
5、6月は訪問を中止した。

【実施場所】対象者の自宅



“傾聴”に役立つ専門研修を開催

・傾聴ボランティア連絡会「うなづき」の連絡会と専門研修を支援(事務局担当)

【登録者】傾聴手法を学んでいる25名

【連絡会】年間 6回(2ヶ月に一回) 内2回は専門研修

【開催場所】ふれあいプラザ

⑨-9 能美市民防災ネットワークの活動支援

町会・町内会や壮年団、婦人会、民生委員・児童委員、ボランティア、郵便局、防災士などが集まり、災害時において各団体が地域の課題や被災状況等の情報共有を図り、被災者への支援活動を円滑にすすめる為に、平常時から情報交換や、連携を深めることを目的とする「能美市民防災ネットワーク」の活動を支援した。

【委員会】5回

【研修会及び委員のスキルアップ研修会】2回

10月6日（水）講義：「コロナ禍での
災害ボランティアセンターの運営」
災害ボランティアセンター模擬体験



3月2日（水）講義：「災害ボランティアセンターの運営について」

※市民向け研修会を企画し開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑨-10 歳末時のお見舞金の贈呈

歳末時に、あたたかい正月を迎えてもらうために、民生委員・児童委員の協力を得てお見舞金を贈呈した。また、毎月実施している「ふれあい弁当」の1月分のお弁当には、福梅も添え、利用者にお正月の雰囲気味わってもらった。

【対象者】市内在住・出身で支援を必要とされる方々や施設入所者等（生保受給者は除く）

【実施期日】12月8日（水）～31日（金）

【贈呈実績と総額】282件 1,410,000円 （一律5,000円）

【財源】共同募金

⑩ 生活支援体制の基盤整備と生活支援の取り組み

⑩-1 生活支援コーディネーターの配置

地域における生活課題の把握を行ない、課題解決に向けたネットワークや社会資源の構築を目的に、生活支援コーディネーターを7名配置。

- ・第1層生活支援コーディネーター（市全域） 1名
- ・第2層生活支援コーディネーター（中学校区） 各2名

【第1・2層生活支援コーディネーター会議】 3回

【地区別2層生活支援コーディネーター会議】 全26回

⑩-2 つなぐ号貸出事業の実施（買い物・外出支援活動の支援）

町会（地域福祉委員会）の買い物・外出支援の活動を対象に、能美市商工女性まちづくり研究会所有の 8 人乗り乗用車を本会が借受け、貸出事業を開始した。（令和元年度より実施）また、令和 3 年度より、能美市より生活支援車両 5 人乗り乗用車の運営を受託し、合わせて 2 台を貸出した。

【貸 出 先】 粟生リンクの和、下開発町つながりの会

【貸 出 実 績】 56 回

【延べ利用者】 165 名

⑩-3 フードドライブの実施

生活困窮や支援を必要な子育て世帯等への支援としてフードドライブを実施した。寄付された食品は、支援を必要としている方や子ども食堂へ渡した。

【実施回数】 4 回

【実 績】

回数	期 日	受付会場	個数(個)	重さ(kg)
1 回	7 月 3 日(土)・4 日(日)	ふれあいプラザ	936	257
2 回	10 月 2 日(土)・3 日(日)	ふれあいプラザ	719	313
	10 月 30 日(土)	根上くるくる工房 ふれあいリサイクルセンター	530	193
	10 月 31 日(日)	辰口リサイクルセンター		
3 回	12 月 11 日(土)・12 日(日)	寺井地区公民館	654	264
4 回	※2 月 27 日(日)	辰口福祉会館	345	183

※2 月 27 日は、(5 頁掲載)「春まちぼかぼかプロジェクト」において開催。

⑪ 同じ立場の方々の支え合いや交流活動の支援

	活 動 名	期 日	会 場	参加者等
介護等に関して	ほっとあんしんサロン 心の悩みなど、日頃の思いを 気軽に語り合う場 ※能美市介護を考える会の協力を 得て実施 【財源】共同募金	7 回開催 毎月第 2 水曜日	ふれあいプラザ	61 名
子育てに関して	親子サロンとママ友相談 就学前の子どもや、その親・ 祖父母が気楽につどい、ふれあい や交流を深め、気軽に子育ての相 談などができるサロン ◎地域の公民館等で開催し、地域 のだれもが参加出来る共生型の サロンを目指す。 【実施回数】週 1 回 ※スタッフとして有償ボランティア で実施	根上地区 水曜日 34 回	西二口町 公民館 (コミュニティセンター)	87 名 (43 組)
		寺井地区 木曜日 33 回	粟生 コミュニティセンター	268 名 (123 組)
		辰口地区 火曜日 35 回	岩内 コミュニティセンター	180 名 (87 組)

⑫ ボランティア・コミュニティ活動支援センターの運営

ボランティア・コミュニティ活動支援センター事業を市民参画で進めるために、運営委員10名による運営委員会を開催した。

【実施回数】 3回 6月4日(金)、7月8日(木)、2月2日(水)

【内 容】 第1回 委嘱状交付式及びボランティア講座・役割の確認
第2回 ボランティアグループ活動助成の検討
第3回 ボラセンの活動報告及び「あい・テラス」の取り組みについて

◆「あい・テラス」の実施 2月26日(土)

【時 間 帯】 10:30～11:30

【内 容】 ボランティア活動の相談コーナー、多様なボランティア活動の紹介コーナーを設置しました。また、能美地域活動センター「はまかぜ」、NPO法人能美市作業所連合「一歩」、NPO法人シオン「サフラン」が各事業所で作ったケーキ、小物、クッキー等を販売した。

⑫-1 登録・ニーズ受付・相談・斡旋・保険加入

ボランティアの登録及び相談斡旋をすると共にボランティア活動保険の保険料を助成し、その加入を推進した。

【登録実績】 91グループ 3,359名 (全てボランティア活動保険に加入)

【相談斡旋実績】

	依 頼 先 ボランティア相談内容	町(内)会 いきいき サロン	福祉 施設	保育 学校 関係	企業 団体	その他	件数
1	イベントに関して	22			1	1	24件
2	高齢者・障害者への支援に関する活動					3	3件
3	子育て支援に関する活動						件
4	福祉教育(地域や学校に出前)に関する活動			9			9件
5	文化・伝承活動に関する活動						件
6	環境保全活動に関する活動						件
7	国際交流活動に関する活動						件
8	防災活動に関する活動						件
9	健康促進に関する活動						件
10	その他の相談					3	3件
合 計		22	0	9	1	7	39件

【登録一覧】 (活動分野別)

高齢・障がいのある人の支援	団塊世代仲間生活・買物支援	芸能	絵手紙	読み聞かせ	環境	子育て支援	交流	更生保護	健康防犯	その他	合計
23	7	21	2	4	9	8	4	3	5	5	91

【令和3年度能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター登録グループ一覧】

No	分野	グループ名	活動の内容
1	介助	ヘルスケアJA根上女性部	福祉施設でのシーツ交換のほか、傾聴ボランティア、各種イベントのお手伝いをしています。
2	介護・防災	ボランティアほおずき	福祉施設での話し相手、給茶サービス、ビューティケア、救急法、健康生活支援講習、災害ボランティアの研修などを行っています。
3	介助	J A能美 ボランティアグループ	福祉施設でシーツ交換などの協力をしています。
4	介助	げんきかい	福祉施設でのサポートやアロマハンドマッサージによるふれあい交流をしています。また、老人クラブの運動会の支援もしています。
5	介助	しらゆり会	福祉施設利用者の理髪やティータイムの手伝いと話し相手等を行っています。
6	相談	能美市介護を考える会	会員同士の思いを話し合い、お互いの心の支えとなることや、介護についての学習の場として学びあうことなどをすすめています。
7	介助	能美市笑いヨガ倶楽部	福祉施設やいきいきサロンで笑いヨガによるふれあい交流をしています。
8	介護・防災	能美市赤十字奉仕団 チーム20	地域での認知症についての理解講座や高齢者向けレクリエーション指導をしています。また、小・中学校での福祉体験学習に協力しています。
9	介護・介助	NPO法人 「たすけ愛」ほっと	地域福祉活動や地域のイベントでの参加者の介助の手伝いをしています。
10	介助・環境	ちぐさグループ	福祉施設や地域のいきいきサロンでのふれあい活動や、環境保護活動として「ほかし」の製造販売をしています。
11	介助	寺井民児フレンドサークル	古切手、古木綿布、タオル、石鹸等を収集し施設へ届けています。イベント応援もしています。
12	介助	まだまだ元気な高齢者 サポートグループ 「ほがらか会」	市民提案型協働事業「ほがらか会」(閉じこもりを防ぐミニデイサービス)を行っています。
13	点訳	点訳グループ 双六	点訳友の会に所属して図書の点訳をしています。小・中学校の福祉体験にも協力しています。
14	音訳	能美市音訳ボランティア たんぽぽ	3地区の音訳グループが協力して、広報誌を音訳し、テープに録音しています。
15	手話	手話サークル 虹	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
16	手話	手話サークル めだか	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
17	手話	手話サークル ゆず	聴覚に障がいのある方々と交流しながら手話の学習をしています。
18	要約筆記	能美要約筆記サークル みみずく	聴覚に障がいのある方のコミュニケーション支援と社会参加を支援しています。研修会や講演会、イベントなどで活動しています。
19	傾聴	能美市傾聴ボランティア 連絡会 うなづき	傾聴技術を学び、心に寄り添った会話をすることで、高齢者に安心感を与えることを目的に訪問活動を行っています。
20	作業所支援	ラゼールクラブ ボランティア	能美市手をつなぐ育成会会員の余暇活動を応援する活動を行っています。
21	農耕体験 共生支援	NPO法人 心田開発	ストレスなどによる「心のかげ」に悩む方に農耕や園芸作業で実感できる“緑の時間と空間の中”で元気回復を応援しています。
22	高齢・ 障害者支援	辰口民生児童委員OB会	地区内施設の支援活動などを行っています。

23	高齢者・障害者支援等	配食	ふれあい型配食サービスボランティア	一人暮らし高齢者等への夕食弁当の調理・配達をしてふれあい交流をすすめています。
24		団塊世代仲間	シニア大楽	シニアからのセカンドライフを心豊かに過ごす趣味や生きがいづくりを通じた仲間づくりの活動をしています。
25		団塊世代仲間	元気でやろう会	シニア世代として、荷物の運搬や簡単な草木の手入れなど、自分たちができることを、支援を必要としている方の要請に応じて手伝っています。
26		団塊世代仲間	明日に向かってやってみよう会	シニア世代講座の修了生によるグループで、家庭や地域で役立つ介助の知識を持ち、できることを検討しています。
27		生活支援	東レOB支援隊	東レのOBが集まり、高齢者の生活の支援サポートを行っている。
28		生活支援	たすけあい・ライフサポーター「えがお会」	たすけあい・ライフサポーター活動支援講座を修了し、支援を必要とする高齢者と温かなコミュニケーションをとりながら、自立に必要な家事支援を行っています。
29		買物支援	能美市商工女性まちづくり研究会	地域貢献と地域振興を目的として、市内山間部の地域を中心に、買い物に困っている方々を支援する「移動販売」を行っています。
30		買物支援	認定NPO法人えんがわ	毎週、ふれあい市を開店し地元を中心に販売、買い物支援を実施。また冒険の森の伐採、公園清掃などを行っています。
31	芸能・生涯学習関連等	芸能	能美市郷土芸能保存会	郷土の文化芸能を、子ども達へ引き継ぐ為に、伝承活動をしています。
32		芸能	響の会	歌や踊りでの交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
33		芸能	加賀佐野小町	よさこい踊りを通して、地域の方々に元気を差し上げたい、と活動しています。
34		芸能	能美マジック教室	マジックや、歌、踊りなどを通じたふれあい交流を目的に、地域のいきいきサロン等に訪問しています。
35		芸能	てらい愛唱会	歌で交流することを目的に、福祉施設に訪問しています。
36		芸能	音楽ボランティア愛凜	歌謡と楽器演奏を通じたふれあい交流を目的に、福祉施設に訪問しています。
37		芸能	KONOHAWINDS	吹奏楽OBが集まり、演奏活動を行っています。
38		芸能	根上歌謡会	懐かしい歌を楽しみながらふれあい交流を行います。福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
39		芸能	辰口民謡会	全国各地の民謡と踊りによるふれあい交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
40		芸能	歌とマジックの会	歌とマジックを披露するを通して、ふれあい交流を目的に福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
41		芸能	能美市お笑い演芸会	交流することを目的に、福祉施設などに訪問しています。
42		芸能	ウクレレサークルnomilele	ウクレレ演奏を通し、地域の福祉施設やイベントでの活動を行っている。
43		芸能	オカリナ倶楽部九谷の風	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
44		芸能	オカリナ倶楽部九谷まほろば	オカリナ演奏を通して、仲間づくりと人とのつながりを積極的に行い、地域のいきいきサロンやイベント等での活動を行っています。
45		芸能	オカリナサークルさざなみ	市内福祉施設でのオカリナの演奏を行っています。
46		芸能	J A根上女性部「雅会」	大正琴の演奏を通して、ふれあい交流を目的に福祉施設や地域のいきいきサロン、イベントなどに訪問しています。
47		芸能	任意団体能美市福祉ボランティアかがやき姉妹	唄や寸劇を披露しふれあい交流することを目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンを訪問しています。

48	芸能・生涯学習関連等	芸能	野花菖蒲たつのくち	民謡、歌謡曲、よさこいソーラン踊りなど、多種ジャンルから選曲し、イベントでの活動や福祉施設への訪問をしています。
49		芸能	amitie' (アミティエ)	ギター演奏と歌を通してイベントでの活動を行っています。
50		芸能	アル・ソーレ	童謡や唱歌を通して、ふれあい交流を目的にイベント会場や福祉施設を訪問しています。
51		芸能	舞踊集団菊の会	踊りでのふれあい交流を目的に、福祉施設や地域のいきいきサロンに訪問しています。
52		絵手紙	苺の会	老人クラブの有志で絵手紙を作成しています。また、1ヶ月に2回ふれあい弁当事業の上掛けの絵作りに協力しています。
53		絵手紙	葉月会	季節を愛でた絵手紙を作成し、高齢者に送っています。また、ふれあい弁当事業の上掛けの絵作りに協力しています。
54		読み聞かせ	えほんファミリー	赤ちゃんから高齢者まで幅広く楽しんでもらえるパネルシアターやペープサート等で活動しています。
55		読み聞かせ	さゆりの会	童話や昔話の読み聞かせ活動をしています。
56		読み聞かせ	おはなしの会 トゥインクル	活動地域の主婦が集まりお話の読み聞かせ活動をしています。また、辰口図書館の活動にも参加しています。
57		読み聞かせ	和気小図書ボランティア	和気小学校図書館での本の読み聞かせ活動をしています。
58	環境		高坂・根上町緑を守る会	身近にある山林を守る保全活動を通じて、緑に対する関心を高めることをすすめています。
59			能美花の会	草花への理解を深めるために、公共花壇の定植、講習会、研修展示会をしています。
60			いけ花あじさいクラブ	能美根上駅窓口コーナーなどへ、四季折々のいけ花を提供しています。また、福祉施設に訪問し、フラワーアレンジメントを教えています。
61			むつみ学級	根上地区の公共施設周辺の花壇の整備や清掃美化活動を行っています。
62			エコトライ寺井	環境ボランティア活動として、身近な環境問題の学習と実践活動をしています。
63			ハリンコ保存会	絶滅危惧種「ハリンコ」の保護活動として、生息地や水路の清掃を行い、環境保護啓発の活動を展開しています。
64			フレンズ	史跡や公共施設周辺の草刈りや樹木整備をしています。また、男性同士のふれあい仲間づくりをしています。
65			能美の里山ファン倶楽部	貴重な役割を担う里山の活性化のために、里山地域の住民が考え、広く市民に里山の魅力をアピールする活動をしています。
66			護美ワーキンググループ	生ゴミを肥料に使う野菜作りの普及や環境問題を中心にした活動をしています。
67	子育て支援		託児グループ リバティfam	イベント時の託児や、能美市ファミリー・サポート・センター、親子サロンなどの見守り活動に協力しています。
68			こども食堂 I・RO・DO・RIひろば	不登校・相談室登校の児童・生徒が安心できる居場所作りや子ども・外国人などが一緒に食事できる場の提供をしています。
69			能美美育ネットワーク	公共施設への花の生け込み活動や、児童作品展の開催、保育園・福祉施設での美育セミナー（お茶、お花）をしています。
70			能美子ども食堂ネットワーク	食を通して、誰でもが集える場を開催しています。
71			のみ♥子育てネットワーク	地域の子育てを応援する為に、人と人とのつながるきっかけ作りとして年に数回イベントを開催しています。定例会では、自身の子育てを本音で語り合いながらイベントの企画を話し合っています。
72			小松おやこ劇場	親子で心豊かに育ちあうことを目指し、舞台鑑賞、研修会、講師を迎えておはなし会を行っています。

73	子育て支援		三道山子ども食堂	食を通して、誰でもが集える場を目指して活動しています。
74			青空自主保育 おひさまぼっこ	親子で自然とふれあい、親子同士の交流を図り集える場を開催しています。
75	交流		山ぼうしの会	使用済切手や書損じ葉書・ベルマーク等の収集整理活動をし、小中学校の教育支援や開発途上国の支援につなげています。
76			能美市国際交流協会	外国の方々との交流サロンや、日本語教室、ふれあいイベントを開催し、国際感覚を育み、共に暮らす地域づくりの活動をしています。
77			粟生町歩笑美くらぶ	粟生町での多世代型交流として、カラーリングや、町カフェを開催し、多くの方とのふれあい活動を行っています。
78			中庄町丸いも娯楽会	農業体験を通じての世代間交流、地産地消の大切さを伝えるために、丸いもの普及活動を行っています。
79	更生保護		根上地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。
80			寺井地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。
81			辰口地域更生保護女性会	地域の犯罪予防、非行防止、更生保護活動への協力、青少年の健全育成支援活動をしています。
82	健康	AED普及	Heart aid いしかわ ～みんなでいのちを想う会～	心肺蘇生法やAEDの普及を呼びかけ、命を大切にできる地域づくりに貢献する活動をしています。
83		食育・配食	能美市食生活改善 推進協議会	市栄養教室修了者で構成。市民の食生活改善及び健康推進の普及、研修会や検診時の試食製作、配食サービス弁当づくりに協力しています。
84		スポーツ	能美市レクスポクラブ	高齢者や障がいのある人の閉じこもり予防や、自立による社会参加の促進、レクスポでの健康増進や心のふれあい交流をしています。
85		健康啓発	能美・健康ワーキング グループ	市と連携し、健康づくりの活動に協力しています。地域のいきいきサロンにも訪問しています。
86	防犯	防犯	辰口中央小学校見守り隊	辰口中央小学校の児童の登下校の見守りや交通安全指導などの見守り活動をしています。
87	その他	学生 ボランティア	寺井高等学校JRC部	ふれあい弁当事業の配達や、募金活動をしています。
88		清掃活動	かが能美掃除に学ぶ会	公共施設（学校含む）のトイレの清掃活動を行っています。
89		民生委員	市民生委員児童委員協議会	地域福祉の推進役、地域における高齢・障害・児童育成の様々な支援活動を行っています。
90		ドローン	能美市ドローン連絡協議会	ドローンを活用した地域活性化の貢献や害獣搜索、現状調査などを行っています。
91		香害普及 活動	香害認知を広める会	香害を知ってもらうため、ポスター・チラシの作成や講座などを行っています。

⑫-2 ボランティア講座の開催

ボランティア活動に関心を持っていただけるように年代層別に、気軽に活動に参加できるような各種講座を開催した。

	事業（講座）名	実施月・回数	参加者数	内 容
①	ジュニア ボランティア クラブ  最初にボランティア入門 	10～12月 全4回	小学生と その保護者 計42名 延118名	※市内社会福祉法人の職員から施設の目的や取り組みを紹介、体験の指導をしてもらいました。 ・ボランティア入門 能美市ボランティア連絡協議会 会長 中田 紀子氏 ・高齢者や障がいのある方を支える施設での取り組みや大切なことを学ぶ (社福)喜峰会 ボニュール根上苑 (社福)佛子園 星が岡牧場 ・障がいのある人のお話を聞く 久木 直子氏 ・「ユニバーサルデザイン・バリアフリー」を学ぶクイズラリー (社福)陽翠水 陽翠の里 ・障がいのある方たちと「ボッチャ」で交流 (社福)泰耀 サンサポートさらだ ・歳末助けあい募金と活動のふりかえり
②	中学生 ボランティア チャレンジ体験  	10～12月		※市内中学校生徒会が企画 各学校でコロナ禍でも活動できる活動として、収集ボランティアに取り組みました。 <根上中学校生徒会企画> ①「コンタクトケースの回収運動」 ②「赤い羽根共同募金運動」 <寺井中学校生徒会企画> ①「赤い羽根共同募金運動」 ②「コンタクトケースの回収強化運動」 <辰口中学校生徒会企画> ①「収集ボランティアについて学ぶ」 山ぼうしの会 廣岡 桂子氏 ②「エコキャップ、プルタブの収集運動赤い羽根共同募金運動」
③	高校生ボランティア チャレンジ体験  笑いヨガを活用した軽体操のDVDを作成し、地域に元気を届けた。	10～11月 4日間	延56名	①高校生ボランティアチャレンジの意義を知る ・コロナ禍の今、できることとして、「笑いヨガ」を活かした活動を学ぶ 沼田 淑美氏 ②笑いヨガを用いた軽体操の練習 ③軽体操のDVD撮り ④寺井町中町敬老会へ出前講座 ・作成したDVDを使って笑いヨガの実践指導 ★作成したDVDは“地域福祉のつどい”で市社協へ贈呈。今後は地域へ貸し出すこととなった。

	事業（講座）名	実施日・回数	参加者数	内 容
⑤	企業ボランティア セミナー (株)ヴァケーション 能美支店	3月10日 (木) 1回	4名	「いま、なぜフードドライブに取り組む必要があるのかを理解し、フードドライブを通じた助け合い活動のしくみについて理解を深める。」  講師：能美市社会福祉協議会職員

⑫-3 災害ボランティアセンターの運営研修会及び事業継続計画(BCP)研修会の開催

災害ボランティアセンター（災害 VC）の運営を円滑に進めるためや、社会福祉協議会の通常業務が行えるよう BCP（事業継続計画）について、社協職員間での共通認識や体制整備を整えるために研修会を開催した。

実施日時：1月22日（土）10時～12時

実施会場：ふれあいプラザ

内 容：災害 VC についての講義及び

BCP についての情報共有

参 加 者：22名

講 師：人吉市社会福祉協議会（熊本県）

主任相談支援員・福祉活動専門員 横井祐一郎 氏



災害ボランティアセンターの運営について学び、BCP について話し合った。

⑫-4 パネル展示 笑顔でつながろう！の開催

市内のボランティアグループ 25 団体の活動紹介や、福祉・介護の現場で働く方々の“きらり★福祉の魅力”フォトコンテスト応募全 71 作品、能美たすかったわ～大賞の受賞 10 作品、市内の福祉協力校の福祉教育・ボランティア活動紹介、のみ社会福祉法人連絡会の取り組み等を展示した。手作りの展示物から、それぞれの活動に対する熱意やあたたかな気持ちが伝わった。

【前期】実施日時：2月19日（土）～25日（金）10時～16時

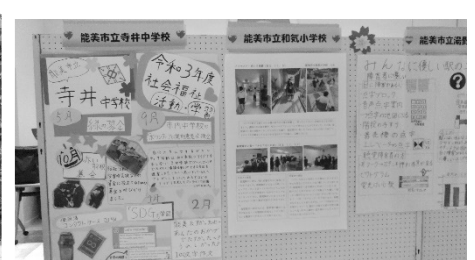
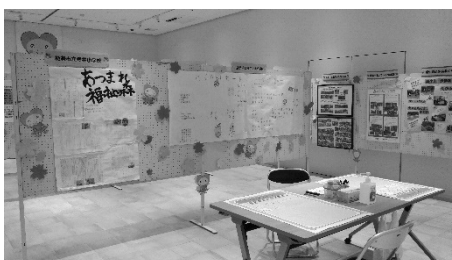
実施会場：能美ふるさとミュージアム

【後期】実施日時：2月26日（土）～27日（日）10時～15時30分

実施会場：辰口福祉会館

見 学 者：250名

※（5頁掲載）「春まちほかほかプロジェクト」において開催。



⑫-5 ボランティアグループ活動支援(助成金)

ボランティアグループ活動団体の活動を推進するために助成した。

【対 象】市ボランティア・コミュニティ活動支援センターに登録し、市ボランティア連絡協議会に加入した、次に該当するグループ

●活動実績が1年以上 ●会員数が5名以上 ●月1回以上の継続活動

No	申請グループ名	助成額 (円)	活動における助成内容
①	かが能美掃除に学ぶ会 代表 山口 健次 平成17年設立(17年目) 会員数20名	50,000	活動に使用するTシャツを消耗品費として助成した。
②	辰口地域更生保護女性会 代表 南 一美 昭和35年設立(62年目) 会員数91名	2,7000	小学校の下校時見守りパトロールなどに使用する軍手やカイロ、事務用品等を消耗品費として、技術向上のための研修の講師謝礼金として、施設訪問のためのバス代を業務委託費として助成した。
③	手話サークルゆず 代表 坂下 淳子 平成30年設立(4年目) 会員数20名	14,000	安全に活動を行うために、透明マスクと事務用品を消耗品費として助成した。
④	能美要約筆記サークルみみずく 代表 村西 優美 平成7年設立(27年目) 会員数5名	20,000	活動に必要な用紙や、インク代、ペンロール等を消耗品費として、技術向上のための要約筆記関係教材を研修研究費として、郵便代を通信費として助成した。
⑤	舞踊集団菊の会 代表 徳田 重子年 平成21年設立(13年目) 会員数7名	13,000	活動の際に使用するCDラジカセを器材購入費として助成した。
⑥	粟生町歩歩笑美くらぶ 代表 平田 美実 平成29年設立(4年目) 会員数18名	35,000	活動の際に必要なコーヒーマーカーや、ステンレスサーバーを器材購入費として、ナブキン等を消耗品費として、ガスボンベを燃料費として助成した。
⑦	中庄町丸いも娯楽会食育グループ 代表 本 忠儀 平成25年設立(9年目) 会員数27名	50,000	活動のために必要な親種芋や肥料等を消耗品費として助成した。
⑧	のみ♡子育てネットワーク 代表 清水 奈津美 平成13年設立(21年目) 会員数51名	50,000	活動に使用する九谷焼カップや、ぬいぐるみ等を消耗品費として、研修会にかかる講師や託児スタッフの費用を謝礼金として助成した。
⑨	オカリナ倶楽部九谷まほろば 代表 本佐 盛明 平成27年設立(7年目) 会員数15名	50,000	活動に使用する譜面台やユニホーム等を消耗品費として、楽譜のコピー代等を印刷製本費として、技術向上のための講師謝礼金として助成した。
合 計		309,000	

12-6 福祉協力校の活動支援

市内全小・中・高等学校を福祉協力校に指定し、児童・生徒の福祉意欲の啓発やボランティア活動への理解を深める取り組みに対して助成し、活動を支援した。

- ・活動助成金交付 6小学校（2校は県社協指定校）、3中学校、1高等学校
- ・福祉協力校の福祉体験活動支援

福祉体験についての相談を受け、指導者や協力者を派遣したり、訪問先の施設との連絡調整を行うなど、福祉協力校が行う福祉体験を支援した。

【社会福祉協議会が把握した活動回数】 99回(学年はクラス単位)

【社会福祉協議会が把握した体験者数】 延べ3,247名

- ・福祉協力校活動連絡会

学校と地域のボランティア活動者及び福祉施設職員が顔を合わせ、情報を交換し連携を深めることで、福祉教育の推進を図ることをめざし、連絡会を開催した。

【参加者】福祉協力校担当教諭10名、ボランティア活動者7名、福祉施設関係者4名 計27名

【実施日時】2月14日(月) 13:30~15:00

【実施場所】能美市ふれあいプラザ 第2会議室

オンライン会議システム Zoom ※ハイブリッド形式で開催

【内容】講演：地域共生社会とは～みんなちがってみんないい～

講師：富山国際大学 子ども育成部

教授 村上 満 氏

12-7 能美市ボランティア連絡協議会の活動支援

市内で活動しているボランティアの相互の情報交換、交流などを図る市ボランティア連絡協議会の活動費を助成し、役員会や研修会を支援した。

- ・能美市ボランティア連絡協議会の活動の事務局を担当し支援した。
分野別研修会 79名参加、会員研修会 46名参加、他に総会、役員会(毎月1回開催)などを開催

12-8 ボランティア情報発信

- ・ボランティア情報誌「ボラ♥はあと」を年2回(37号、38号)発行した。
- ・ボランティア団体の活動状況や活動紹介「ボランティアだより」を毎月1回、ボランティアコミュニティ活動支援センターのホームページに掲載した。
- ・ボランティア・コミュニティ活動支援センターのホームページを随時、更新した。
HPアドレス <[http:// www. nomi-shakyo.jp/vc](http://www.nomi-shakyo.jp/vc)>



⑫-9 ボランティア器材の貸出し <用品一覧>

【貸出実績】 53件（目的は、次のとおり）

- ・町会行事のふれあい行事（いきいきサロンを含む） 25件
- ・要介護者の移動等 7件
- ・学校等での福祉体験 8件
- ・ボランティアグループのふれあい活動 3件
- ・本会の正会員、賛助会員である福祉施設 7件
- ・その他、個人への貸出し 3件

【貸出用品一覧】

番号	貸出用品	貸出数量
①	車いす	12
②	点字器(携帯型)	81
③	アイマスク	19
④	高齢者擬似体験セット(ジュニア用)	2
⑤	プロジェクター	1
⑥	CDラジカセ	2
⑦	スクリーン	2
⑧	マイクアンプセット	3
⑨	ビデオ・DVDデッキ	2
⑩	視聴用ビデオテープ・DVD	多数

番号	貸出用品	貸出数量
⑪	ポップコーン機器	4
⑫	かき氷機	4
⑬	綿菓子機	4
⑭	レクリエーション器材 (屋内用) シェンガ、ボーリング、 デジタルビンゴ、玉入れ、 輪投げ、ストライクアウト等	多数
⑮	カラオケ式	1
⑯	図書(福祉教材)	多数
⑰	サンタ衣装	3

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯

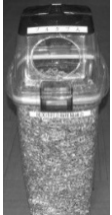


⑰



⑫-10 ボランティア・コミュニティ活動支援センターが窓口となっている 収集物について

【収集物の使途及び実績一覧】

収 集 物	収集取り扱い団体	使 途
プルタブ  緑が丘町会より、多くの寄付を頂いた。 (プルタブ贈呈式の様子)	能美市社会福祉協議会	令和3年度 集めたプルタブは、 <u>合計約 105k g</u> 市内のボランティアグループ、企業、保育園、市民の皆様からたくさんのご寄付を頂いております。 金属廃品回収業者に買いとってもらい、換金、積立てしている。 (★約 650k g で車椅子 1 台が購入できる。)   

【収集物の使途及び実績一覧】

集めているもの	収集整理している団体	送付	どんなことに役立つの？
ベルマーク 	ボランティアグループ 山ぼうしの会 使用済み切手は、 消印が残るように 切り取ってね！ 	ベルマーク財団 	ベルマークは、整理、計算して財団に送ると1点が1円に換算。学校の教材備品を購入。また、教育援助活動に使われる。
使用済インクカートリッジ (キャノン・エプソンのみ)		キヤノン・エプソン	使用済インクカートリッジの回収を通じて、ベルマーク運動に参加。 用途は、上記の通り。
使用済み切手 書き損じハガキ 使用済電話番号カード プリペイドカード		・公益財団法人 ジョイセフ(東京都) ・特定非営利活動法人 「誕生日ありがとう 運動本部」(神戸市)	・アジア・アフリカ中南米の発展途上国の保健活動(予防接種や保健師の活動)の助成に使われる。 ・障がい者問題に取り組む福祉活動に使われる。
プルタブ	能美市社会福祉協議会	金属廃品回収業者にて換金し車椅子を購入。市内福祉施設等へ寄付。車いす 1 台購入には、約 650kg 必要！(時価で変動あり)	

○収集ボックスの設置について

老人福祉センター「白寿会館」、寺井老人福祉センター「亀齢荘」、G-Hills、能美市ふれあいプラザ

○エコキャップについて

令和2年12月1日より、エコキャップの受け入れ先は「株式会社日本海開発」となり、直接、各自が持ち込むことを周知。

⑬ 老人福祉センター等の指定管理、運営

高齢者の憩いの場である温浴施設（老人福祉センター）を指定管理、運営した。

	施 設 名	開館日数	延べ利用者数
1	老人福祉センター白寿会館	257日	15,316名
2	寺井老人福祉センター亀齢荘	330日	31,365名
計			46,681名

Ⅳ 寺井あんしん相談センターの運営

⑭ 高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口

高齢者や障がい者、生活困窮者等の総合相談窓口である寺井あんしん相談センターの運営を能美市より受託し、下記の業務を行った。

- ・高齢者福祉制度、サービス及び介護・認知症に関する相談
- ・地域とのネットワークづくり、介護予防の普及啓発
- ・権利擁護に関する相談

	内 容	件 数
1	実態把握（延）	3,359件
2	地域活動支援（地域福祉委員会の出席等）	46件
3	運営推進会議出務	6件
4	出前講座・認知症サポーター養成講座開催	6件
5	ケアプラン会議開催	150件
6	地域ケア会議開催	109件
7	権利擁護に関する相談・対応	249件
8	連絡調整業務（介護保険の申請手続き等）	286件

- ・介護予防支援、介護予防・日常生活支援総合事業対象者のケアプラン作成

	内 容	件 数
1	介護予防支援（直営）	251件
2	介護予防支援（委託）	525件
3	介護予防・日常生活支援総合事業（直営）	243件
4	介護予防・日常生活支援総合事業（委託）	174件

- ・高齢者や障がいのある方、生活困窮等複合的な課題を抱える世帯に対し、サービス事業所や必要な相談窓口等につなげ、その世帯を包括的に支援する調整を行った。
- ・各相談支援機関と連携を図り、解決に向けて協議するケース会議の開催・参加を行った。

	内 容	件 数
1	障がい者の相談（延） ※64歳以下	243件
2	生活困窮の相談（延）	33件
3	支援チーム会議参加 地域ケア会議開催	7件

※根上地区は「能美市立病院」、辰口地区は「（社福）陽翠水」が、各地区あんしん相談センターを受託している。

V くらしサポートセンターのみ の運営

⑮ 生活困窮者自立支援事業（食糧支援含む）

- ・社会的孤立や経済的に困窮する恐れのある方が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、個々に応じた包括的かつ経済的な相談支援を実施する。
- ・必要に応じて個別プランを策定し、目標達成に向けて支援を実施する。
- ・地域における自立・就労支援等の体制を構築することにより、生活困窮者の自立を促進することを目的とする。

【相談実件数】 671件
 【相談延べ件数】 1,657件
 【プラン作成件数】 10件

・家計改善支援

家計状況の見える化と根本的な課題を把握し、自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援プランを作り、早期の生活再生につなげていくことを目的とする

【プラン作成件数】 5件

・食糧支援

フードドライブで集められた食品は、くらしサポートセンターのみを通して、生活に困窮している方や各団体に配付した。

【利用回数】 217回

くらしサポートセンターのみ生活困窮者個別支援 145回
 （事業所等からの個別支援依頼含む）

配付先団体

団体名	利用回数
能美子ども食堂ネットワーク	21回
能美市母子寡婦福祉連合会	10回
能美市国際交流協会	20回
行政（福祉課、子育て支援課）	21回

⑯ 成年後見制度利用促進事業

認知症や障がいにより判断能力が不十分なため、ご自身で日常生活における様々な手続きや契約関係に関すること、または財産の金銭管理等が難しい方等の成年後見制度の利用の相談や手続きの支援をする。

【サービス内容】

- ・制度利用の相談、申立て手続きの支援
 - ＊制度に関する総合相談、利用に際しての書類作成の補助や手続き等の支援を行います。
- ・後見人候補者の紹介・調整
 - ＊後見活動を行う適切な候補者を一人ひとりの方の希望される支援に合わせて紹介。調整する。
- ・後見人等への活動支援
 - ＊支援における後見人からの相談や、適切な支援が行われているかを確認し、制度利用後も継続的に支援を行う。
- ・出前講座や研修会の開催
 - ＊地域住民や関係機関等への制度の周知啓発活動や、制度の理解を深めるための研修会等を企画し、随時開催する。

【活動実績】

制度に関する相談件数 25 件

【認知症高齢者等 13 件 精神・知的障害者等 4 件 その他 8 件】

【その他】

成年後見利用促進に関する研修会の開催【2月15日（火） 43名参加】

第1回能美市成年後見地域連絡協議会の開催【3月17日（木）】

成年後見利用に関する実態調査の実施

⑰ 福祉サービス利用援助事業

判断能力の乏しい高齢者や障がい者等の権利を擁護することを資することを目的として、それらの方が自立した地域生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援をする。

【対象者】 利用対象者は判断能力が十分でない方で以下のとおり

- ・もの忘れのある高齢者（認知症高齢者）
- ・知的障がいのある方、精神に障がいのある方等

【サービスの内容】

- ・日常的な金銭管理の援助
 - ＊医療費、電話料、税金などの支払い＊年金や福祉手当の受取り等
- ・大切な書類などの預かり
 - ＊年金証書、不動産権利書、保険証書などの保管等
- ・日常生活に必要な手続きの援助
 - ＊住民票の届出や印鑑登録などの行政手続き等
- ・福祉サービスの利用の援助
 - ＊サービス提供事業者を選択するための情報の提供等

【利用実績】 33 件

〔認知症高齢者等 24 件、知的障害者等 2 件、精神障害者等 6 件、その他 1 件〕

⑱ 安全・安心のための各種相談

⑱-1 心配ごと相談

民生委員・児童委員や人権擁護委員、行政相談委員を相談員として委嘱し、市民の日常生活上の相談に応じ助言などを行う。相談員は各地区9名ずつで、計27名。

【相談件数】 15件

【実施回数】 33回（月3回・各地区1回ずつ）

※コロナウイルス感染拡大防止のために3回中止し、電話相談を14回実施した。

【実施場所及び開設日】 根上地区…根上サービスセンター／毎月25日

寺井地区…ふれあいプラザ／毎月5日

辰口地区…辰口福祉会館／毎月15日

（休館日の場合、開催日の変更あり）

・心配ごと相談所相談員研修会を開催した。

【開催日時】 3月11日（金） 13:30～14:30

【内 容】 相談における「ゲートキーパー」の役割

講師：石川県精神保健福祉士会

会長 蔭西 操 氏



⑱-2 弁護士無料法律相談

【対象者】 市民、市内に勤務の方（1名約30分の相談時間で、1日4名までとする。）

【要事前予約。相談は来所で行う】

【実施時間】 毎回 13:30～15:30

【利用者数】 123名

【実施回数】 36回（月3回）

* 開設日、開設場所については、その都度、市広報「のみ」、社協広報誌「ほほえみ」に掲載し周知をした。

⑱-3 行政書士無料相談

【対象者】 市民、市内に勤務の方（1名約30分の相談時間で、1日4名までとする。）

【要事前予約。相談は来所で行う】

【実施時間】 毎回 13:30～15:30

【利用者数】 40名

【実施回数】 12回（月1回）

* 開設日、開催場所については、その都度、市広報「のみ」、社協広報誌「ほほえみ」に掲載し周知をした。

⑱-4 能美市福祉資金

市社会福祉協議会の福祉の貸付制度で、資金の貸付と必要な援助及び指導を行うことにより、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とする。

- 【対象者】・能美市に住所を有する低所得世帯、身体障がい者世帯、知的障がい者世帯、精神障がい者世帯、高齢者世帯などで、市社会福祉協議会長が必要と認め、他から資金の融資を受けることが困難な世帯
・生活保護申請者で生活保護費受給までの生活費等が必要な世帯

【貸付限度額】原則として一世帯200,000円（無利子）返済計画に基づき償還
生活保護申請者は一世帯50,000円

【利用件数】 10件

⑱-5 石川県生活福祉資金

資金の貸付と必要な援助及び指導を行うことにより、世帯の経済的自立と生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とした石川県社会福祉協議会の資金貸付制度。市社会福祉協議会は、市内における利用申請、償還支援、連絡調整を行う。

※貸付の条件や限度額等については、資金種類によって異なります。

- 【対象者】他からの借入が困難な収入が少ない世帯、身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳を持っておられる方の世帯、65歳以上の介護が必要な高齢者と共に生活している世帯

【利用件数】 55件

- ・福祉資金・教育資金（教育支援資金含む）・緊急小口資金 36件
- ・総合支援資金 14件
- ・離職者支援資金 3件
- ・臨時特例つなぎ資金 2件

【新規相談件数】

貸付種類	件数
総合支援資金	0件
福祉資金	1件
教育支援資金	0件
不動産担保型生活資金	0件
合 計	1件

【延相談件数】 65件

※《新型コロナウイルス特例》緊急小口資金・総合支援資金

石川県社会福祉協議会では、令和2年3月25日より、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の費用や、失業等により生活再建までの間に必要な費用の貸付を実施している。市社会福祉協議会では相談や申請受付を行う。

【対象者】

新型コロナウイルスの影響を受け、休業や失業等により収入の減少があり、日常生活が困難となっている世帯

【申請件数】

貸付種類	申請件数
緊急小口資金	72件
総合支援資金	46件
総合支援資金（延長）	19件
総合支援資金（再貸付）	56件
合 計	193件

【延相談件数】 513件

Ⅵ 在宅福祉サービスの提供

①⑨ 福祉移送サービス(外出支援サービス)

一般の交通機関の利用が困難な方に、リフト付き車両による通院などの送迎サービスを行う。

- 【対 象 者】 常時車いす利用者で、一般の交通機関を利用できない方
- ・ 重度身体障害者（身障手帳 1.2 級所持者）
 - ・ 介護保険法に基づく要介護、要支援認定を受けた高齢者等
 - ・ その他、心身に何らかの障がいのあるおおむね 65 歳以上の高齢者

内 容	実 績
当該年度登録者数	24 名
延利用回数（片道を 1 回とする）	107 回
稼働実日数	53 日

②⑩ たすけあい・ライフサポーター(訪問型サービスB)派遣事業

要支援者・基本チェックリストによる事業対象者に対し、自立支援を目的とした日常生活上の生活支援を行う。

- 【対 象 者】 原則一人暮らしの方で、要介護認定の要支援 1・2 および事業対象者で生活援助が必要とケアプラン会議で認められた方

【実 利 用 者】 3 名

【延べ派遣回数】 107 回／年

②⑪ 能美居宅介護支援事業所の運営

要介護認定者に対し、自宅で自立した生活を送るため、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成やサービス調整の他、介護予防ケアマネジメント・要介護認定調査の業務受託を行います。

内 容	実 績（延）
介護給付ケアプラン作成	835 件
予防給付ケアプラン作成（受託）	29 件
要介護認定調査（受託）	9 件

Ⅶ 能美市社会福祉協議会 お問い合わせ先一覧

●〒923-1121 石川県能美市寺井町た8番地1
『ふれあいプラザ2階』

・法人事務局

TEL：58-6200 FAX：58-6250
<http://www.nomi-shakyo.jp/>

・ボランティア・コミュニティ活動支援センター

TEL：58-6200 FAX：58-6250
<http://www.nomi-shakyo.jp/vc/>

・寺井あんしん相談センター

TEL：58-6117 FAX：58-6733

・くらしサポートセンターのみ

TEL：58-6603 FAX：58-6733

・能美居宅介護支援事業所

TEL：58-6005 FAX：58-6733

QRコード



能美市社会福祉協議会
ホームページ



能美市社会福祉協議会
フェイスブック



能美市社会福祉協議会
インスタグラム



能美市ボランティア・
コミュニティ活動支援センター
ホームページ



**令和3年度
地域福祉・ボランティア・在宅福祉
事業報告集**

発行 令和4年3月

社会福祉法人 能美市社会福祉協議会

TEL:(0761)58-6200

FAX:(0761)58-6250

能美市社会福祉協議会

<http://www.nomi-shakyo.jp>

e-mail:nomi@nomi-shakyo.jp

能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター

[http:// www.nomi-shakyo.jp/vc](http://www.nomi-shakyo.jp/vc)